



ワークショップ

広島湾の魅力と課題を探る

平清盛ゆかりの広島湾の保全・再生に向けて

呉会場 第1回実施報告（速報版）



広島湾の魅力や広島湾を保全・再生していくための課題と解決策について考える「**広島湾の魅力と課題を探るワークショップ・呉会場 第1回**」を12月11日（日）、大和ミュージアムにおいて開催しました。

呉市内を中心に近隣市町より39名が集まり、広島湾の『魅力資源』とそれらの『よいところ』『足りないところ』について、地域住民ならではの活発な意見交換が行われました。

ご参加頂いた皆様、ワークショップ開催にあたりご協力・ご支援を頂いた皆様には、あつく御礼申し上げます。

※ワークショップの様子は、12月11日のNHK夕方のニュースでも取り上げられました。

《実施日時》 平成23年 12月11日（日）13:00～17:00

《実施会場》 大和ミュージアム 4階会議室

《参加者》 39名（男性25名、女性14名）

※参加者は、呉市から約6割の他、広島市、東広島市、廿日市市などから、会社員、主婦、NPO・市民団体、観光ボランティア、大学の先生、学生、留学生など様々な立場の方にお集まり頂きました。

プログラム1 体験クルーズ 呉～音戸巡り

「体験クルーズ 呉～音戸の瀬戸巡り」では、**呉市入船山記念館 津田文夫先生にご案内頂きながら、参加者全員で呉湾周辺の海上踏査を行いました。**「平清盛が夕日を招き返して1日で切り開いたという音戸の瀬戸の「日招き」伝説は今から500年前に出来たと言われている。」ことや、「戦前は呉海軍工廠で「戦艦大和」などが建造され、東洋一の軍港として知られていた。」ことなど呉湾周辺に今も残る史跡や文化、伝説、産業などについて、平清盛が活躍する時代から現代までの歴史をひも解きながら、沿岸域に点在する様々な魅力資源をご紹介いただきました。



クルーズのルートと主な見どころ



クルーズ船「くれない2」



津田氏による見どころ等のご案内



クルーズの様子



プログラム2 ワークショップ

ワークショップでは、船での体験を参考に、呉湾周辺に備わる自然環境や歴史・文化、発達してきた産業やこの地域で行われている人々の活動など、すべてを広島湾の『魅力資源』として抽出していくことから意見交換を始めました。呉市民として、ボランティアとして、観光客として、企業としての思いなど、各々の異なる視点からバラエティ豊かな魅力資源が洗い出され、それらの『よいところ』や『足りないところ』などについても共有認識を深めていきました。



意見交換の様子



発表の様子



とりまとめ資料

広島湾の資源のとりまとめの一例

資源		よいところ	悪いところ・足りないところ
歴史・文化・産業	レンガ倉庫、自衛隊の建築物、音戸の渡し船、工場夜景、誇れる地場産業（セーラー万年筆、楸葉イシなど）、島特有の生活・文化、入船山記念館、高島台（たかがらすだい） など	・時代ごとのバラエティにとんだ歴史・文化資源が揃っている（古くは平安時代から近代まで）。	・高島台など、手入れが行き届いていないところが多い。
食・観光	オイスターロード、音戸ちりめん、どこの店でも新鮮な魚が食べられる、バームクーヘン（似島）、牡蠣、いちご大福、メロンパン など	・海の幸から山の幸までなんでも揃っている。	・歴史・文化・産業資源と同じく、食も地元の人にとって当たり前になりすぎている。 ・「B級グルメ」がない。
自然	呉湾に映る月がきれい、桜巡り、音戸の瀬戸公園（つつじ） 呉線から見る夕日 など	・桜の名所が多い。 ・夕日や月が反射して、海そのものがきれい。 ・島と海のコントラストがきれい。	・美しい自然の活かし方を考えるべき。また、地元の人にとって自然も当たり前になりすぎている。 ・キャッチフレーズが欲しい。
イベントなど	清盛祭り（5年に1度）、カニ祭り（吉浦） カキまつり など	・「港まつり」が多く存在。 ・若い人が積極的に祭りに参加している地区もある。	・伝統芸能などを、学校であまり教えていない（教えられる先生も少ない）。 ・全体的に高齢化が進んでいて祭りを伝える人が少ない。

【その他の主な意見】

- ・いい資源がいくつもあるのに活用しきれていない。また、地元の人にとって当たり前になりすぎている。
- ・「清盛祭り」は、5年に1度というレア感がよいが、一方で5年に1度だと後世に伝えていくのが難しいのでは？
- ・海から陸を見るような観光があったらいいが、海から見る場合はもう少し陸上に目印になるようなものが欲しい。
- ・海岸線や穏やかな海の風景が魅力的だが、道路が海岸線から遠いので、サイクリングできるようになればおもしろい。

呉会場での第2回ワークショップは、平成24年1月29日（日）開催です。

第2回ワークショップでは、大和ミュージアムの戸高館長にご講演頂くとともに、第1回ワークショップで参加者の皆さんと一緒に洗い出した広島湾の『魅力資源』を保全・再生していくための課題やその対応策についてさらに意見交換を進めていきます。